

令和4年度 入学式 校長式辞

緊張感と期待に胸を膨らませた姿、とてもいい姿です。名前を呼ばれたときのさわやかな返事。素晴らしいです。マスクごしから見える真剣なまなざしと聴く姿勢。その姿から「中学校生活をがんばるぞ」という気持ちが伝わってきます。この最初の気持ちをどうか忘れないでください。

89名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ようこそ東安中学校へ。皆さんの入学を心待ちにしていました。

本日は来賓の皆様のご出席は控えていただいておりますが、河合PTA会長様をはじめとする、多数の保護者の皆様には、お忙しい中、本校の入学式にご臨席賜りましたこと、高い席からではございますが心よりお礼申し上げます。

さて、新入生のみなさんは、新型コロナウイルス感染症により、世界中が未だかつて経験したことのない未曾有の事態となっている中、臨時休校を体験し、縮小された行事、削減された活動のなかで小学校での2年間を過ごし、コロナ禍の中で卒業式、中学校入学式を迎えられた学年です。このような学年は昨年度に続いて2学年目です。これまで当たり前だったことが当たり前でなくなり、行事一つとっても、実施できることに喜びや感謝を感じ、精一杯取り組んできたと思います。そんな皆さんは学校での生活を大切に、より仲間の存在を大切に思えるようになってきているのではないかと想像します。

そこで東安中学校生徒としてこれから大切にしていけることを一つお話しします。

「熱く温かく 一人にかかわり続ける」ということです。

「熱く」とは熱意をもって、積極的に、自分から、あきらめずに、などの「たくましさ」と言い換えることができます。

「温かく」とは、相手の立場になって考えること、相手の言葉を傾聴すること、許すこと、困っている人に手をさしのべること、などの「思いやり」と言い換えることができます。

「一人」はあなたの学級でつらい思いをしている仲間かもしれませんし、学習につまずいている仲間かもしれません。自己実現がうまくいかず、つっぱっている仲間かもしれませんし、リーダーとして孤独を感じている仲間かもしれません。あなたの隣の席にいる仲間かもしれません。そして、あなた自身かもしれません。その一人に対して、あきらめずにかかわり続ける、そんな中学校生活を送ってほしいと思っています。自分一人ではできないこと、自分一人では到達できないことを仲間の存在ができるようにしてくれます。コロナ禍の中で経験し、仲間の大切さを実感し理解している皆さんですから、このことはよく分かってもらえると思っています。悲しい思いをして、一人になっている人も大切な仲間です。その人にこそ、あなたからかかわってください。

そしてあなたが最後までかかわり続けなければならない人は、あなた自身です。自分に対し、熱く温かくかかわり続け、自分の生きる道をつかみ取ってほしいと思っています。

私たち東安中学校職員も、熱く温かく「一人」にかかわり続ける決意で、皆さんと共に東安中学校をよりよい学校にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。12年前、我が家に生まれ、あんなに小さかったお子様が、今日、中学校の制服に身を包み凛とした姿でおられます。じっくりと見てやってください。うれしかったことも、つらかったことも色々あったと思います。でも、今こんなに大きくなりました。

私たち職員は、学校の教育目標『心豊かで たくましい生徒』のもと、熱意と包容力を持ち、「一人」を見過ごすことなくかかわり続ける東安中学校を目指していきます。お子様の成長のために共に手を取り合って歩んでいただければ幸いですようお願い申し上げます。

令和3年4月7日

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校長
木 下 隆 一